

令和7年度第2回大和市社会教育委員会議定例会（第34期） 会議録

会議名（審議会等の名称）	令和7年度第2回大和市社会教育委員会議定例会（第34期）		
開催日時	令和7年7月7日（月曜日）午後3時00分～午後5時10分		
開催場所	文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601講習室		
出席状況	委員	9人：大川委員、大谷委員、小早川委員、小森委員、齋藤委員、中山委員、藤倉委員、丸田委員、山岡委員	
	関係各課	6人：健幸・スポーツ部長、文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ×ライフ課長、こども部長、こども青少年みらい課長	
	事務局	3人：図書・学び交流課学び交流係長、同係員2人 学び交流係（259-6104）	
	傍聴人数	0人	
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部非公開
非公開・一部非公開の場合 はその理由			
審議又は検討経過 及び結果	<p>1 会議次第</p> <p>（1）委嘱式</p> <p>（2）教育長挨拶</p> <p>（3）委員・職員紹介</p> <p>（4）議長・副議長選出</p> <p>（5）議長・副議長挨拶</p> <p>（6）協議事項</p> <p>1）点検・評価シート（2）健康都市やまと MANABI 計画について（教育委員会所管分）</p> <p>2）令和7年度社会教育委員会議から選出する委員について</p> <p>3）令和7年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>4）今後の調査・研究について</p> <p>（7）その他</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p>&lt;開会&gt;</p> <p>&lt;委嘱式&gt;</p> <p>&lt;教育長挨拶&gt;</p> <p>&lt;委員・職員紹介&gt;</p> <p>&lt;議長・副議長選出&gt;</p> <p>議長：丸田委員</p> <p>副議長：中山委員</p> <p>&lt;議長・副議長挨拶&gt;</p> <p>&lt;協議事項&gt;</p> <p>1）「点検・評価シート（2）健康都市やまと MANABI 計画について（教育委員会所管分）」の施策目標1について、説明。</p> <p>（委員）17ページの健康に関する講座等の延べ参加者数が2024年度に大幅に下がったことについて、学習センターの講座から自主的な活動へ発展してサークル化した結果、講座への参加者数が減ったと</p>		

のことであるが、これはマイナス要因ではなく、むしろ市民が自主的な活動に流れていったということの評価すべきことではないかと思っている。成果指標の数値としては800人から311人に減っているが、施策の方向性としては上手くいっているのではないか。そういう意味ではA評価でもよいのではないかと思うが、行政の評価としては目標値が定められている以上、それに沿って評価しなければならないということもあり、やはりB評価になってしまうのか。

(市) ポラリスの健康体操講座は、学習センターの講座として開催していた時は19名程のメンバーであったが、サークル化した現在は50名を超えていて、メンバーが増え発展している。講座参加者数が800人から311人に減っている理由の大半がポラリスの健康体操であり、自主的な活動に発展したことについては評価できるが、成果指標の達成度という点ではB評価と判断した。

(委員) 昨年度の評価はどうだったのか。

(市) B評価である。

(委員) 健康都市大学は2023年度で廃止し、2024年度から「ここからマナスタ」になったということだが、ここからマナスタの開催状況や実績を教えてほしい。あと、乳幼児期の講座でイヤイヤ期ふえすていばるを実施したとあるが、どのような講座か。また、来年度も実施するのか。

(市) ここからマナスタについては、令和6年7月1日より事業を開始している。毎週月曜日、午前11時から11時50分の時間帯にシリウス4階の健康テラスで開催している。定員は毎回30名、事前申込は不要で、当日先着順で受講することができる。令和6年度の開催回数は31回、総受講者数は468名である。1回あたり平均15名程度である。受講者は市民の方が多いが、市外からも受講していただいている。次に、イヤイヤ期ふえすていばるについては、イヤイヤしている子どもの写真を募集し展示を行うなどした。

(市) この事業は非常に好評であったため、来年度も継続したいと学習センターから聞いている。特に、ワークショップの反響が大きかった。また、イヤイヤ期ふえすていばるに来た方がシリウス内にある屋内子ども広場も利用してくれたので、相乗効果があった。

(委員) ここからマナスタは点検評価には入らないのか。

(市) 健康都市大学と指定管理者が実施する講座に重複する点があったり、いつも同じ受講者ばかりが参加するようになっていたりという課題があり、健康都市大学を終了して、ここからマナスタを新たに始めた。点検評価においては、計画では健康都市大学の評価としているため、ここからマナスタについては補足として記載させていただいた。

(委員) ここからマナスタは今年度からの生涯学習推進計画には入っているのか。

(市) 現計画にも入っていない。まだ始まって間もない事業ということもあり、事業の状況を見ながら今後の事業展開を考えている。

- (委員) 5 ページの下から 2 行目、「指定理者」とあるが「指定管理者」ではないか。
- (市) 修正する。
- (議長) 他にご意見が無ければ、施策目標 1 について承認してよいか。
- (委員) 異議なし。
- (市) (施策目標 2 について、説明。)
- (委員) 学習センターまつりの参加団体数が減っているが、どのような要因が考えられるか。
- (市) 学習団体は高齢化が進んでいるという状況もあり、コロナ禍をきっかけに解散、活動の停滞、高齢な方の退会、また新しい方が入会しないなど、多くの団体がそのような状況にあると認識している。計画の策定時はコロナ禍前ということもあるが、その頃と比較すると活動回数が減ったり、メンバーが抜けたりという状況となっており、どうしても参加団体数は減ってしまっている。
- (委員) 学習センターが講座を実施し、講座に参加した人たちが新たな学習団体を作っていくというような手立ては何かとっているのか。
- (市) 講座からサークル化している団体もある。学習センターでは団体からの相談に乗るなどのサポートはしているが、世の中の流れに抗い切れていない現状が数字に表れていると認識している。
- (委員) 28 ページの今後の課題の中に、「つきみ野学習センターで活動する団体を、渋谷学習センターまつりへと招待して参加を促すなど、異なる地域を活動拠点とする団体間の交流を活性化させ、新たな繋がりを生み出すための取り組みを充実させることが必要」とあるが、全く同感である。社会教育委員会議の中でも、家庭教育支援の話し合いの中で、そういった相互の交流というのも家庭教育支援の一部になるのではないかと話を話したことがある。是非意欲的に推進するような施策を図っていただきたい。
- (委員) 各館同じ事業者がやっているのであれば、交流事業をやるように仕様書に織り込むというやり方もあるのではないかと。また、市全体で大会のようなことを行い、事例発表をしたり、家庭教育支援講座をやったりするのもありではないか。
- (市) 大和市は地区館含め 5 館の学習センターがあるが、それぞれ地域性がある。特に高齢の方にとっては近所の学習センターの方が行きやすい。今後の課題の中では、例としてつきみ野学習センター、渋谷学習センターと記載したが、全ての団体ではなく一部の団体でも、つきみ野学習センターで活動している団体に対して渋谷学習センターまつりに参加してほしいと募ってみれば、そこで化学反応が起こるかもしれない。今後の指定管理者との会議で、今回いただいたご意見について説明し、検討させていただきたい。
- (議長) 他にご意見が無ければ、施策目標 2 について承認してよいか。
- (委員) 異議なし。
- (市) (施策目標 3 について、説明。)
- (委員) 36 ページのボランティア講師登録数だが、年々減少している理由を聞きたい。また、今後最終目標値に近づけるための具体的な方策は何か考えているか。

( 市 ) ボランティア講師も高齢でやめてしまう方がいる。また、この生涯学習ねっとわあくは、学習場所が講師の自宅もしくは学習申込者が用意する場所であるため、二の足を踏んでしまう面もあると考えている。ただ、ボランティア講師がいることで助かる方が多くいるということも事実なので、今後も周知活動に力を入れ、なり手を探していきたいと思っている。

( 市 ) ボランティア講師の活用方法として、指定管理者が実施する夏休みの子どもの工作講座の講師になっていただいたりもしている。そのような取り組みを継続していき、生涯学習ねっとわあくの利用増につなげていきたい。

( 委 員 ) ボランティア講師の活用について、例えば小中学校の授業で活用できるように、学校へ働きかけてみるのもよいのではないかと。ボランティア講師が宝の持ち腐れにならないよう、行政から働きかけていく必要があるのではないかと。思う。

( 委 員 ) どこでも講座についても、ガイドブックの発行や、市のHPで公開しているということだが、もっと積極的に働きかけていく必要があると思う。例えば、どこでも講座を受けた方の感想を公開することで、このようなことが学べるのであれば受けてみようという市民の方が出てくるのではないかと。ボランティア講師も同様にもったいないと思っている。今後の課題がずっと変わっていないので、もう一步踏み出した働きかけ、工夫をしていただきたい。

( 委 員 ) どこでも講座は、前はPTAでも活用されていたと思う。市P連の集まりなどでアピールしていくのもよいのではないかと。ボランティア講師については、自宅で教えるというのはハードルが高いと思う。前はボランティア講師を活用しての学習の場として、学習センターの部屋を使用する際に減免していたが、今でもそうなのか。

( 市 ) 学習申込者が学習する場所を用意するという事になっているが、ご自宅でもいいし、学習センターの部屋を借りることもできる。学習センターの部屋については減免制度がある。

( 議 長 ) 他にご意見が無ければ、施策目標3について承認するとともに、3つある施策目標の評価全体について、承認してよいか。

( 委 員 ) 異議なし。

～休憩～ ( 健幸・スポーツ部長、こども部長、関係各課長退席 )

～再開～

#### <協議事項>

2) 「令和7年度社会教育委員会議から選出する委員」について事務局より説明。互選により、以下のとおり決定。

- ・文化芸術活動支援補助金選考会議委員：小森委員、藤倉委員
- ・青少年問題協議会委員：丸田議長
- ・子ども読書活動推進会議委員：大川委員
- ・神奈川県社会教育委員連絡協議会理事：丸田議長

- ・文化創造拠点等運営審議会委員：齋藤委員
- ・大和市郷土民家園の指定管理者選定委員会委員：中山副議長

<協議事項>

3)「令和7年度社会教育委員に関する研修会等」について事務局より説明。互選により、以下のとおり決定。

- ・県社会教育委員連絡協議会研修会：伊藤委員・小早川委員・丸田議長
- ・社会教育委員連絡会議：齋藤委員・丸田議長
- ・第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会1日目【全大会】：全員
  - ※ 藤倉委員と藤野は広報部会の業務として、会場内の写真撮影。
- ・第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会2日目【分科会】
  - 第1分科会：中山副議長
  - 第2分科会：齋藤委員
  - 第3分科会：大川委員・山岡委員
  - 第4分科会：大谷委員・小早川委員
  - 第5分科会：小森委員・藤倉委員・藤野（事務局）
    - ※ 丸田議長は県社教連副会長としての業務があるため、含めない。
    - ※ 本日会議欠席の伊藤委員には後日確認。
    - ※ 藤倉委員と藤野は広報部会の業務として、会場内の写真撮影。
- ・人権啓発研修講座：大川委員・大谷委員、山岡委員
- ・県公民館連絡協議会第67回県公民館大会：小森委員・中山副議長

<協議事項>

「4）今後の調査・研究」について、図書・学び交流課学び交流係長より、資料5を使用して過去の取組、他自治体の研究テーマについて説明。  
(議長) 今年第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会が行われるので、皆さんには他自治体の研究を聞いて参考にしていきたい。併せて、今大和市ではこんなことが問題だということがあれば聞かせていただきたい。今すぐには出てこないと思うので、11月の第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会【分科会】が終了後、12月の社会教育委員会議会で話し合いをし、研究テーマを決めていきたいと考えている。

<その他>

(委員) 私は社会教育委員として文化創造拠点等運営審議会委員に選出されているが、先月6月27日に、来年度以降の指定管理者を決めるためのプレゼンがあった。応募があったのはやまとみらい1社のみであった。その中で、運営審議会の委員から各学習センターに対する意見があった。それぞれの学習センターで違うことをしているが、今後は各館で交流をしていったらどうかという意見があった。やまとみらいからは、地域性があり、それぞれの特色があるので現在はなかなか交流ができていないが、いただいたご意見については考えていきたいという話があったので、報告させていただきます。

次回の日程について

( 市 ) 次回の日程は、令和 7 年度第 3 回定例会を 12 月中旬ごろに開催予定である。日程は 12 月 17 日 (水)、18 日 (木)、19 日 (金)、22 日 (月)、23 日 (火) のいずれかで出席が可能な委員の多い日にしたいと考えている。開始時刻は、いずれも午後 3 時 30 分からを予定している。場所はシリウス 6 階、生涯学習センター601 講習室で行う。

- ① 17 日 (水) 午後 3 時 30 分から 2 名欠席
- ② 18 日 (木) 午後 3 時 30 分から 全員可
- ③ 19 日 (金) 午後 3 時 30 分から 全員可
- ④ 22 日 (月) 午後 3 時 30 分から 2 名欠席
- ⑤ 23 日 (火) 午後 3 時 30 分から 1 名欠席

(議 長) では、全員出席可能な 12 月 18 日 (木) か 19 日 (金) を候補日とし、本日欠席の伊藤委員に確認し、日程を決定する。

(後日、伊藤委員へ確認し、12 月 19 日 (金) 開催に決定。)

以上で議事を終わる。

<閉会>

会議資料

- ・ 令和 7 年度第 2 回社会教育委員会議定例会 (第 34 期) 次第
- ・ 第 34 期大和市社会教育委員名簿
- ・ 点検・評価シート (2) 健康都市やまと MANABI 計画 (教育委員会所管分)
- ・ 令和 7 年度社会教育委員会議から選出する委員
- ・ 令和 7 年度社会教育委員に関する研修会等
- ・ 第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会開催要項 (案)
- ・ 今後の調査・研究について